



どこよりも「室名札」に誇りを持ち どこよりも「最短」でお届けし
どこよりも「楽しく」笑顔で仕事をするそれが 株式会社 フジタです。

フジタがご提案した納入事例やサインの様々な事を情報誌を通して、ご紹介致します。



納入実績

豊島区 池袋保健所

屋内サインを製作しました。



大きなガラス面のシートサインを貼り変えました。

今回ご紹介させていただく物件は、東京都豊島区にある「池袋保健所」様です。お納めしたのは、室名ひとつひとつが着脱可能になっている案内板や施設名称のシートなどです。案内板は、施設内の室名などの変更があったため、もともとあった案内板のフレームはそのままに、施設名や室名の表示部分を納めさせていただきました。この度、案内板の製作にあたり「以前のものより明るい色にして見やすい表示にしたい」というお客様からのご要望があったので、新しい色を提案させていただきました。そのご要望にもお応えすることができ、また、ひとつひとつが着脱可能になっている仕様も「こんな仕組みになっていたんだ!」とお客様からはとても気に入っていただけたと思います。



日本語・英語・中国語の3か国語表記がされています!

1階エントランスやEV内に設置してある案内板は、日本語・英語・中国語の3か国語表記になっており、中国語はお客様から文字をひとつひとつ拾い出していただき、データを支給してもらうことで製作することができました。私にとっては初めて担当した物件であり、製品を納入させていただくのも、もちろん初めてのことだったので、分からないことばかりで先輩方にたくさんサポートしていただきました。初めて一人で現場調査にも行きましたが、後から上司と二人で行った現場調査では全く違う結果となり勉強になることがたくさんありました。施工の様子も初めて見させていただき、フジタの製品が入ることによる施工前と施工後の雰囲気の違いに嬉しい気持ちになりました。最後の方は少しばたばたしてしまいましたが、無事納めることができほっとしております。



フロア案内板



既存で設置されていた案内板



表示板を撤去



新たに製作した表示板を設置!



平面図も触知仕様となっております。



ひとつひとつのプレートに点字表示を施しております!

お客様との打合せや現場調査、取り付けなど貴重な体験をたくさんさせていただきました。今回の経験を糧にし、またより良いものをたくさん納めていけるよう努めます。この度はありがとうございました。

東京支店 佐藤 緑



避難経路図



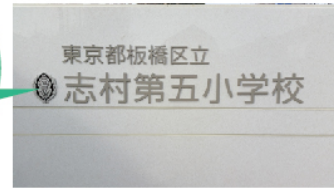
フロア案内板



案内表示



納入レポ! 「板橋区立志村第五小学校」



校章はエッチング加工、校名は焼付塗装を施しております!

今回は板橋区の「志村第五小学校」の外構サインを納めさせていただきました。校章、ステンレス箱文字、切文字、自立の案内サイン、ステンレス掲示板を納めるということでしたが、壁の緑化、床のタイル、植栽の整備など他の外構工事との取り合いがなかなかうまくいかず、工期が大幅に遅れてしまいました。さらになかなか図面の承認もいただけず、数回の図面修正、仕様変更、最後は製作日数も無くなった中、協力業者の皆様が無理ばかり言ってしまい、反対に本当に助けて頂きました。

また、実際の施工でも切文字を取りつける壁が結晶化ガラス化粧板という、大理石より厄介な材料で出来あがっており、嫌がる職人さんに文句を言われながら何とか施工しました。何かと上手くいかないことばかりの現場でしたが、逆の意味で勉強になりましたし、思い出に残る現場になったかと思えます。 東京支店 古澤 公博



校舎案内サイン



優先駐車サイン



掲示サイン



まめ知識 コ～ナー 今回は「屋外広告物条例」

今月は少しお堅い内容になりますが、屋外広告物条例についてお話をしたいと思います。国土交通省で昭和24年に「良好な景観の形成又は風致の維持」「公衆に対する危害の防止」を目的として屋外広告物法が制定されました。(想像していたより古くに制定されており少し驚いているのですが)ただあくまで屋外広告物を規制する主体は都道府県や政令市及び中核市であり、国土交通省の定める屋外広告物法においては、都道府県等が条例を制定する場合の基準となる事項を定めたものとなります。ということで今回は、弊社京都本社社の地元でもあり、日本で最も厳しいとされる京都市の屋外広告物条例の一部をご紹介します。京都市では昭和31年に屋外広告物法に基づいて屋外広告物条例が制定されたのですが、現在は平成19年9月に実施された新景観政策のなかで、建築物の高さやデザイン等の規制強化とともに、大幅に見直された屋外広告物制度となっております。

特徴的な内容としては

- ①屋上広告物や点滅式・可動式照明の禁止
- ②京都市内を20以上の地区に細分化し(一般地域、歴史遺産型、沿道型など)、それぞれの地区で表示可能な広告物の面積や、色、高さなどを決めている
- ③優良な屋外広告物の設置には補助金を交付するような制度を設けている反面、行政指導に従わない場合には、行政代執行等のかなり強い措置をとる



細かいところまで説明はできませんが、このような内容に基づいて「歴史都市・京都」の良好な景観の創出に取り組まれています。今回京都市の屋外広告物制度をご紹介します。先ほど「日本で最も厳しい・・・」という表現を使いましたが、実は近年全国で初めて市内全域を景観地区に指定し、屋上看板だけでなく突出看板(袖看板)も全面的に禁止した兵庫県の芦屋市など、より厳しい条例を制定されている自治体もあるようです。弊社は屋内サインがメインですので、必ず屋外広告が関わってくるというわけではないのですが、当然外部のサインと一緒に納入させていただくこともあります。日本全国の自治体の条例を網羅することは不可能だと思いますが、地元の制度くらいは熟知しておく必要があるとともに、屋外広告物制度の大きな流れ(新しい動き)については敏感にアンテナを貼っておく必要があると思っております。

本社 今井一郎

今年5月からスタートした社員教育の場 フジタ塾が昨年11月で終わりを迎えました。
フジタ塾は月に1度計7回、外部の講師をお招きして社外の会場で開催し、本社・東京支店全社員が参加しました。
社員が3チームに分かれ、チーム毎に【会社をよりよく、働きやすくするための課題】を設定し、11月までにその取組を行ってきました。講師の講義を受け、即課題に取り組む実践の日々でした！フジタ塾最終回は各チームの取組・結果発表会でした。各チームで活動してきた事等をチームリーダーより少しご紹介いたします。

ライジングサン テーマ：誰もが入社したい会社になるようにフジタの価値を上げる / 目標：会社訪問に20人以上来てもらう

メンバー
リーダー：藤本 書記：田中 由加里 古澤・角村・光宗・藤田



私たちが取り組んできた内容は会社訪問に20人以上来ていただくことでした。まず結果として京都・東京合わせて42名もの学生さんが来られて、目標は達成いたしました。東京では合同説明会に参加や学校求人を出すなどし、京都では学生就職支援センターの方々に協力いただき本社で説明会を行うことができました。説明会の内容や時間調節などチームメンバーと何度も話し合い、グループワークの内容も、実際にやってみて楽しめるかなど確かめたりと良い説明会にするために試行錯誤を繰り返しました！

これから説明会を行う際に活かせるものとなりました！

本社 藤本 祐太

チームTSK テーマ 新商品を企画、提案する 目標：次回のカタログ掲載を目標に、既存の製品（型材・材料）の活かし、新しい壁面金具を提案する。

メンバー
リーダー：高井 書記：佐藤 高桑・西澤・石井・氏家



新製品の企画を通じて、“向上心をあげる” “自分の会社に誇りをもつ” “結束力を高める”この三つにコミットすべく取り組んでまいりました。

当初は、新商品を考える事の規模の大きさに、周囲からは「本当に大丈夫?」「目標を下げては?」と言う声もありましたが、頑なに意思を曲げなかった事がとても印象深く残っています。その結果、良いものを考案しようと思う程、皆が一丸となりとても良い顔で今回の企画に取り組めました。

チームで取り組んだことに、非常に大きな意味を見出すことができたのだと改めて感じております。

本社 高井 慶一

チームブライト テーマ 分かりやす漏れのない指示書に改善する / 2015年11月 指示書の改善 2016年3月納期遅れゼロ

メンバー
リーダー：鳥羽 書記：田中紀行 今井・山崎・市橋・関根・廣川



私たちのチームは「わかりやすく漏れのない指示書に改善する」という課題に取り組みました。この課題に取り組んだ結果、改善した指示書を実際に運用するまでに至っております。

結果的にこの計画はフジタの発展にとって必要不可欠な計画であり、前向きなものであったということに気づかされました。指示書を改善するにあたり、全ての部署からヒアリングを行うなど会社全体で関わられたという点が今回非常にプラスであると考えます。指示書は運用されていますが、この指示書はまだ改善の余地が残されています。これからも改善に向け継続的に取り組める課題であると思えます。

東京支店 鳥羽 晋太郎



神奈川めぐり ～横浜編～

～神奈川在住の東京支店長が神奈川の魅力をお届けします～

今回は数多くの歴史的な建物の中でも「横浜三塔」として親しまれている「キングの塔」と呼ばれる県庁本庁舎、「クイーン」の塔の横浜税関、「ジャックの塔」の開港記念会館をご紹介します。名前の由来は定かではないようですが、昭和初期には外国船員が横浜港から見える三塔を入港の目印にしたと言われています。県庁本庁舎は五重の塔をイメージさせるスタイルで1928年10月に完成した4代目で高さは48.6m。全国で大阪府に次いで2番目に古い都道府県庁舎です。

三塔の中で最も高い横浜税関は1934年3月に完成で51m。イスラム寺院を思わせる塔は、当初は47mの計画でしたが、22代目税関長の金子隆三が「国際港・横浜の税関庁舎は高くするべきだ」と指示して変更されたそうです。開港記念会館は横浜港の開港50周年を懸念して市民からの寄付により1917年6月に完成し、高さ36mの時計塔には全市民が見られるように四つの面すべてに時計が付いています。「横浜三塔物語」という都市伝説があり三塔を一望できる場所がある日本大通り、赤レンガパーク、大棧橋の3か所を1日で巡ると願いが叶うと言われています。(現在は一望という条件が成り立つのは赤レンガパークのみようです。)

みなとみらい線日本大通り駅の改札を出てすぐのところ三塔をかたどった陶板レリーフがあるのでこちらに寄ってみるのもいいのではないのでしょうか。



※毎年3月10日の「横浜三塔の日」には、横浜三塔にまつわるイベントも開催されます。



横浜三塔



キングの塔



クイーン



ジャックの塔

横浜観光情報 <http://www.welcome.city.yokohama.jp/ja/>

東京支店 長谷川 真理子

フジタの広場 ブリッジワンスタッフ



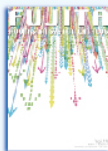
室名札・黒板の業務 伊藤 江里子 入社2年目 東京支店勤務

フジタの子会社で、株式会社ブリッジワンのスタッフの伊藤と申します。主に会社看板の販売、原稿作成を担当しています。昨年12月に入社し、2年目に入りました。看板は、会社設立や移転などのタイミングでご注文される方もいらっしゃるのですが、対応する中で心機一転への意気込みを感じます。デザインの要望に応えつつ、製作者目線でもより良い商品を提供できるよう、新しいスタートを応援するような気持ちで業務にあたっています。今後とも宜しくお願い致します。



カタログご請求・会社見学も随時受付しております。
詳しくはHPまで <http://www.fujitanet.co.jp>

総合カタログ配布中!



[Vol.14]

本社会社見学開始 受付中!



ECOへの取組み

フジタ京都本社にはソーラーパネルがあります!



3.11東日本大震災を契機に弊社でも、「限りある資源」を考え京都本社ビルに、ソーラーパネルを設置し、社内照明をLEDに変えました。オフィス内に電気使用量の測定器を取付けし、社員ひとりひとりのECOへの意識が高まっています。

お問い合わせ 株式会社 フジタ ご連絡を頂きましたら、担当者が迅速に対応いたします!

京都本社 担当: 今井
Tel. 075-592-7550 Fax.075-592-7524
E-mail: info@fujitanet.co.jp
〒607-8147 京都市山科区東野森野町 46-4

東京支店 担当: 鳥羽
Tel.03-3556-6540 Fax.03-3556-6931
E-mail: tokyo@fujitanet.co.jp
〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 プライムビル6F